

恵み契約

1. アダムが墮落して、神の審判の下にいる状態では、 それ以上、望みはなかったのですか。

アダムが罪を犯したことで人類は、罪と腐敗によって汚染され、罪によって、神の審判の下に置かれるようになりました。この状態の人は悲惨な立場です。自ら悲惨なところから抜け出て、自分を回復する力自体がないのです。ところがこの時、神は、ご自身の無限なる知恵と慈悲の中で人類を罪から救える救い主を与えると約束をしました。この契約を恵み契約と呼びます。恵み契約は、神と罪人を和解させる、キリストに対する約束です。キリストを信じることで、罪と死から救われるだけでなく、罪を赦され、神の子共になることです。

2. 恵み契約とは、何ですか。

アダムが墮落した後、神は、直ちにアダムに審判を下さないで、彼のところに訪れて、二回目の契約を結ばれました。女の子孫を通して、罪人たちが神の

恵みの中に入ることができ、回復できるという約束でした（ガラテヤ 3:21-22）。これは、キリストに対する約束です。神が、アダムと二回目の契約を結ばれた理由は、神の計画と目的の中で、ご自身の民を創造し、契約の民を通して、ご自身の栄光を現すためでした。神は仲介者を約束なさったことで罪人のための治療策を与えました。これは言いようもない神の慈悲です。

3. 恵み契約の根拠は、何ですか。

神はキリストの中に慈悲を用意して置きました。父なる神が、その御子、キリストを遣わし、贖いの働きの根拠を用意なさったことです。そして、父なる神と御子が聖霊を遣わし、御子が成し遂げて置いた贖いの御業を、選ばれた個々の人に適用させることです。キリストの働きが、選ばれた者の心に適用され、聖い者となれるのです。父なる神はアダムが墮落する以前に、つまり、永遠の前から御子を救い主と決めました。御子がそれを受け入れたことで、父と子との間に約束が成されました。これを贖い契約と呼びます。神がこの契約を用意なさった理由は、アダムとエバが神から自由意志を付与されましたが、そこには可変性があって、彼らが墮落することもあり得たからです。それで神は、アダムが墮落したすぐに、彼と恵み契約を結ばれたのです。

4. 神がアダムと結ばれた恵み契約は、

救済の歴史の中で、どのように明白になりましたか。

神がアダムに約束なさった女の子孫は、アブラハムと結ばれた契約の中では、彼を通してすべての民族が祝福されるとの啓示でした（創 12:1-2）。モーセと結ばれた契約では、律法を石の板に書き記してくださることで、神が、王、審判

者、贖い主として啓示され、儀式法を通しては、キリストの必要性が啓示されました。ダビデと結ばれた契約の中では、その王国を建てる王として啓示され(IIサムエル7:13)、捕虜期時代の預言者たちには、シオンを立て、すべての国々を呼び集める、救い主として啓示されました(イザヤ40:12-18)。このように救済史の中でキリストは漸進的に、さらに確実に啓示されました。従って旧約の聖徒たちは、約束を通してキリストを知ることができ、キリストを待ち望み、キリストが来られるという期待を抱き生きました。結局、神の定めの時が来たので、キリストがこの地に来られたのです(ガラテヤ4:4)。

5. 恵み契約において、人間側での条件は何でしたか。

恵み契約において人間側での条件は、神が恵みによって提供するものを受け入れることです。つまり、キリストを信じることです(ヨハネ1:12, 14:1, 使徒16:31)。勿論、キリストを信じる信仰も、神さまが聖霊の御業によってご提供します。従って、私たちがキリストを信じることで、キリストと結合され、罪の赦しを受け、義と認められるのです。そして神の子共となり、神が私たちの神となり、私たちは神の民として、キリストによって提供されるすべての恩徳を味わうのです。この時、聖霊さまは、神の律法を信者の心に書き記し、信者が戒めを守るように働かれます。ならば、神の民となった信者としての証しは、神の律法を守ることとして示されます(エレミヤ31:33)。

6. 恵み契約によって提供される仲介者は、どんな方であるべきですか。

恵み契約によって提供される仲介者は、神と人間との間の仲介者となられるキリストです。キリストは、選ばれた民の罪を担わなければならない、彼らの

贖罪のために、贖いの働きを行われる方です（Iテサロニケ 1:10）。その方は、選んだ人々を贖うために、罪があってはならず、選んだ民の罪について、無限なる神の御怒りと苦痛をその肉体に担える方でなければなりません。また、選んだ民に義を付与するためには、ご自身が律法を完全に守り、罪がないだけでなく、義を全うしなければなりません。つまり、仲介者であるキリストは、私たちの救いの敵である悪魔、死、地獄、罪の定めから克服しなければならなかったのです。これは被造物ができることではありません（ヘブル 2:14）。

さらにキリストは、私たちを罪と死から救わなければならない、私たちに永遠の命を与える方でなければなりません。また、必ず、私たちに聖霊を与え、私たちの腐敗した本性を更新させ、その民として、神の律法を守らせなければなりません。つまり、恵み契約の実行は、キリストにかかっていた（使徒 10:43、ロマ 1:3-4）。従って、恵み契約として約束された仲介者は、必ず、人間であると同時に、神でなければなりません。神の選ばれた者たちの罪を担うためには、人間と同じでなければならない、罪がなく、律法を完全に全うするためには神でなければなりません（ガラテヤ 4:4-5、ロマ 1:3-4、1テモテ 3:16）。

7. 仲介者を、神の御子と呼ばれる理由は、何ですか。

仲介者は、本性上、唯一なる神の息子です。父なる神から、永遠の前からお生まれになったからです（ヨハネ 1:14、3:18）。天使のことを神の子らと呼ばれるなら（ヨブ 1:6）、新しく生まれて養子となることで、聖徒となった者を神の子たちと呼びますが、仲介者は本性の上、神の御子です。神性において御子は、神です。キリストは父もなく、母もなく、神性を持った神です（ヘブル 7:3）。また、神の御子は、ただ独りです。

8. キリストが神となられる証拠を、聖書は何と告げ、その有益は何ですか。

キリストが、神となると証しする聖句は、数えきれないほど多くあります（イザヤ 7:14, 9:6, 25:9、ヨハネ 1:1, 20:28、ロマ 9:5、1 ヨハネ 5:20）。また、キリストは数多くの奇跡を行い、特に、死からご自身を起こされました（ロマ 1:4）。キリストは聖霊によってご自分の民を治めておられます（ゼカリヤ 4:6）。キリストが神であるゆえに、信者に与える直接的な有益は、神の選んだ者を救うことができ、父なる神と私たちとの間を和解させることができることです。さらにキリストは、私たちをご自分と結合させ、私たちを父なる神の子共として造ることができるのです（ヘブル 2:10）。

9. キリストは、実際に人間でしたか。

キリストは女の体から生まれ、実際に肉体を持つ人性も取られました。ただ、原罪の腐敗性が汚染されないように、処女マリアの子宮を借りて、生育法ではない聖霊によって身ごもり、お生まれになりました。キリストは実際に幼児期を通られました（ルカ 2:7）。そして実際に、人間という体を持ち、貧しく過ごされました（Ⅱコリント 8:9）。キリストは体と霊魂をお持ちになる完全な人でした。もし、そうでなかったなら、私たちの霊魂は永遠に滅びるしかなかったでしょう。それゆえ、キリストは肉の体を着て、神の選んだ者たちの罪を負うため、贖罪のいけにえとしてご自身の霊魂を捧げられました（イザヤ 53:10、マタイ 27:50）。

10. キリストに、神性と人性が、どのように結合されていますか。

キリストに、神性と人性が、蜜と油が互いに混ざっているように混合された

のではありません。キリストの一人格の中で結合されたことです。それゆえキリストは、のどの渇きを覚え、涙を流されたりもしました。また、神性をお持ちになったので奇跡を行いました。これは、神性はその体から人性に変わったのではありません。神性の性質が、キリストの人格のうちに維持され、その行為と特性の中で人性が維持されたのです。これを私たちは、一人格の中に、二つの本性が結合されていると語るのです。

11. 神となられる仲介者が、人間でなければならなかった理由は、何ですか。

仲介者が必ず人間でなければならなかった理由は、神の選んだ民の罪を担い、死ななければならなかったからです。それは神性だけではできません。仲介者は人間として、律法を完全に遂行して、神の公義を満足させることだったので（ロマ 8:3、1 コリント 15:21、ヘブル 2:14-16）。仲介者は、私たちの弱さを十分に体験し、あらゆる試みを受け、私たちを十分に助けなければならなかったからです（ヘブル 4:15-16, 5:2）。第一のアダムは、人間の腐敗した性質の源泉だった反面、第二のアダムは、回復された本性の源泉でなければならなかったのです。それは、霊的再生によって、私たちにその性質を持つようにすることです。神であるキリストが人間となられたことは、キリストが私の罪のために審判を受け、苦しまれたことを確信するようにさせます。